



2013-2014 年度

国際ロータリー会長 / ロンド・バートン  
2690地区ガバナー / 森本 信一

会長 / 飯塚 大幸 副会長 / 内田 節夫  
幹事 / 佐々木哲也 会計 / 石原 輝男

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月15日	島根県葬祭業協同組合 副理事長 大崎 昇 様	葬祭事情と3.11から学ぶ事
5月22日	会員 大谷 良治	新入会員スピーチ
5月29日	ホテル ほり江 18:30 ~	夜間例会

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
43	31	12 (5)	81.58 %	%

欠席者

内田 / 三好 / 園 / 原泰 / 大谷 / 土江 / 園山  
(山根 / 牧野 / 木村 / 田中久 / 遠藤)

来訪者

なし

メイクアップ

5/8 加藤昇・田中久・遠藤・小汀・内田・土江・大島治・飯塚詔 園板垣 (家庭集会)

次回例会受付当番

(5月29日) 土江光二 / 来間 久 / 榎野良文  
(6月5日) 石原俊太郎 / 持田稔樹 / 小汀泰之  
近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	松江南
火	出雲 6/24	松江しんじ湖 6/17 6/24(休)
水	大社 6/4 6/18	松江 6/18 6/25(休)
木		松江東 6/19 6/26
金	出雲南	

会長挨拶

「点 鐘」

昨日(5/14)、大島卓爾会員と高砂次期G補佐のご案内で、益田の松本Gエレクトが一畑薬師へお見えになりました。お茶席での会話で、ガバナー就任にあたり研修や会合で国内はもちろん海外へも出かける機会が多いこと、グループ内の各クラブで地区事務局を分担していること、現役でいらっしゃるご自身の病院の運営など、大変なことが実に多量中、ロータリアンとしての高い志をお持ちであるそのお人柄に感服しておりました。ふとしたことから、「ロータリーの例会点鐘は、PETS(会長研修)を受けない副会長は代理ができないんですよ。そういう場合は会長経験者しか点鐘を打てないんです。」と聞かされて、私ども一瞬驚きました。これに関しては知らないクラブも多いようですが、益田ではクレームもつくこともあるようです。要は、ガバナーとか会長はしかるべき研修を受けた者が就くことのできる重要な職務であるということで、改めて気の引き締まる思いでした。

ロータリークラブでは、原則として毎週クラブの例会が行われます。例会に出席することは、ロータリアンの三大義務(会費の納入、例会出席、ロータリー雑誌の購読)のうちの一つです。慣れれば当たり前のように出かけていく例会ですが、日本のロータリーの創始者である米山梅吉が、「ロータリーの例会は人生の道場」と語っていたように、例会の出席はロータリーの会員としての基本です。単なる義務としてではなく、ロータリーで人生を豊かにするために、大いに例会を生かしていただきたいと思っております。 本日は、杉原プログラム委員長の職業奉仕、面目躍如たる講師先生のスピーチ、

よろしく願います。私も大いに楽しみに聴かせていただきます。

幹事報告

1. 例会変更

出雲RC 6/24(火) 本年度最終例会 於)ニューウェルシティ出雲  
ピジター受付 11:30~12:30 ホテル武志山荘

2. 5/13 ホテル武志山荘において、

2014 - 2015 年度 第 1 回 5RC 会長・幹事会が開催され、当クラブ  
次年度高砂 G 補佐、持田稔グループ幹事、内田会長、福田幹事  
出席いたしました。

3. 40周年の会員登録料10,000円を5月分諸経費と一緒に引落します。

委員会報告

出席親睦委員会 : 5 月会員誕生・伴侶誕生・結婚記念のお祝い  
スマイル

飯塚大 (大崎様ようこそいらっしゃいました。本日のお話楽しみにいたしております。

杉原会員、清原会員、おめでとうございます。)

佐々木 (大崎様、本日のスピーチよろしく願います。)

榎野 (家庭集会出席に感謝して。本日が最終会です。よろしく願ひ申し上げます。)

杉原 (ようこそ、大崎副理事長、スピーチを楽しみにしております。新築のお祝いを頂きありがとうございます。)

清原 (長男の結婚に対しお祝いを頂きありがとうございました。)

スピーチ・例会行事

葬祭事情と3.11から学ぶ事

島根県葬祭業協同組合  
副理事長 大崎 昇 様

島根県葬祭業協同組合が誕生したのは、2008年県内の専門業者4社が中心となり発足致しました。(現在加盟店は6社)

法律関係の改正や家族葬の増加など急速な変化の中で、これまでの職人気質の仕事内容から、ホスピタリティーが求められるサービス業としての顧客評価へ応えられる体制が求められています。

葬儀の役割として、私達、生きている者もまた、いずれは死すべきものであり葬儀という場面に立ち会い参加することによって、いのちについて学び、その歴史を受け継いでいるのです。家族葬も増えています。ただし家族葬を検討する上で大切なことは、家族とよく相談すること、菩提寺や宗教者に理解を求めておく、信頼出来る葬儀社、担当者と事前に相談をしておくことです。

当組合として2011年3月11日、東日本大震災に、島根県内の組合内外の協力を得て約50本の棺と仏衣を送り出し、組合有志6名が3・23 - 3・25宮城県へのボランティアへ参加致しました。出来る限りご遺体の尊厳を守ってあげたい思いでありました。 たくさんのご遺体を目の当たりにし、人としてどう生きるべきかを気付かせてもらいました。これからいかに地域に貢献し、奉仕をして行くかを考えていきたいと思っております。

